

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

(定数9人)

◎語堂 正範	藤縄 喜和	山川 智帆
○入江 誠	内田 隆嗣	前住 孝行
浜田 妙子	野坂 道明	村上泰二郎

◎6月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

物価高騰やエネルギー高騰などに対する事業者・生活者支援をはじめ、全国トップクラスの配置数であるALT（外国語指導助手）の効果的な活用による英語力向上のほか、県立美術館の利用者20万人達成に向けたコンテンツの充実などの一般会計補正予算を含む議案7件について、慎重に審査を行い、全て原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、請願・陳情について、県議会議員の「統一協会」との関係の徹底調査などを求める請願及び選択的夫婦別姓の導入について国に意見書の提出を求める陳情は、委員会では審議未了としたが、本会議で「不採択」と決定した。そのほか、陳情3件について「不採択」と決定した。

福祉生活病院常任委員会

(定数9人)

◎西村 弥子	興治 英夫	福田 俊史
○河上 定弘	市谷 知子	島谷 龍司
内田 博長	広谷 直樹	前田 伸一

◎6月定例会審査結果（議案）

物価高騰に伴う生活困窮者支援や全国初の更年期障がい医療・相談体制の整備などを行う「令和5年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）」、子どもの医療費無償化を行う「鳥取県特別医療費助成条例の一部を改正する条例」など9議案について慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎6月定例会審査結果（陳情）

暗号資産のトラベルルールに係る利用者トラブル防止のためのアナウンスを求める陳情について、相談窓口は国が既に設置済みであること、現段階において県や市町村には相談が寄せられていないことなどから「不採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会

(定数9人)

◎鹿島 功	尾崎 薫	福浜 隆宏
○鳥羽 喜一	坂野経三郎	松田 正
浜崎 晋一	浜田 一哉	前原 茂

◎6月定例会審査結果（議案）

エネルギー価格をはじめとする物価の高騰対策として、LPガスや特別高圧電力の高騰分の支援策等を盛り込んだ先議議案「令和5年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）」や、本県の農林水産物の魅力を国内外に更に力強く発信する「食パラダイス鳥取県」関連の事業費等を含むその他の補正予算など計5議案を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎6月定例会審査結果（陳情）

暗号資産の移転に係る通知義務、いわゆるトラベルルールの円滑な実施と利用者保護に係る意見書の提出を求める陳情1件を審査した結果、「不採択」と決定した。

地域振興県土警察常任委員会

(定数8人)

◎安田 由毅	伊藤 保	川部 洋
○東田 義博	銀杏 泰利	平井 伸治
齋木 正一	中島 規夫	

◎6月定例会審査結果（議案・陳情）

地域の買物拠点の閉店方針により、生活機能の維持が喫緊の課題となっている中山間地域等の買物環境確保に向けた支援や、防災・減災のための事前伐採・倒木除去、米子境港間の高規格道路の必要性や公益性など効果検証を行う一般会計補正予算を含む11議案を慎重に審査し、全て原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、入管法改正に反対する陳情に対しては、この度の改正が、強制送還を免れようとする不法滞在者の制度悪用に一定の制限を課す一方、新たに補完的保護対象者（準難民）制度を設けるなど、人道主義的な外国人保護制度に拡充されるものであり、「不採択」と決定した。